

Thailand

フード・セキュリティを考えるスタディツアー

2017.9.16(sat)-9.20(wed) 4泊5日

Food Security?

あるべき「食」の
未来を考える
5日間の旅

フード・セキュリティ = 「食の安全保障」

かつては「飢餓」・「飢饉」の問題であり、日本人の私たちにとっては対岸の火事のようにでした。

しかし、現在、「食」の問題は他人事ではなくなりつつあります。遺伝子組換え作物が知らず知らずの間に私たちの食卓に忍び込んでいたり、種の遺伝情報が知的財産権の保護対象となり、農民が伝統的に代々受け継いできた自家採取が規制されるようになったり、農薬散布を続けていくことで農薬に耐える害虫が新たに生まれてきたり…。

激変する世界の食と農業の動きの一方で、次世代に豊かな未来を残そうと、タイの農民や NGO が様々な取り組みを实践し、JVC もそうした運動と連帯してきました。

フード・セキュリティとは何なのか。タイの現場で、実践に携わる農民・NGO との交流を通じて、あるべき「食」の未来を考えます。

Information - ツアー概要 -

- 【旅行期間】 2017年9月16日(土)～20日(水) 4泊5日
- 【旅行代金】 84,000円 * 代金に含まれるもの / 含まれないものは裏面参照
- 【集合】 2017年9月16日(土) 09:00 ウボンラチャター空港到着ロビー集合
- 【解散】 2017年9月20日(水) 18:00 バンコク市内解散
- 【添乗員】 同行しません。全行程 JVC スタッフが同行します。
- 【募集人員】 10名
- 【最少催行人員】 5名
- 【申込み締切】 2017年8月7日(月)
- 【旅行条件】 所定の海外保険に必ずご加入いただくことを旅行参加の条件とします。
- 【利用予定ホテル】
 - * コンケン県：ペンメンホテル、または同等クラスのホテル
 - * バンコク：Nantra Sukhumvit 39、RetrOasis Hotel または同等クラスのホテル

お問合せ・お申込み：株式会社マイチケット

エアワールド(株) 代理店 / 日本旅行業協会 (JATA) 協力会員
兵庫県登録旅行代理店業第 142 号 (総合旅行業務取扱管理者：山田和生)
〒660-0084 尼崎市武庫川 4-27-1 FAX:06-4869-5777

電話：06-4869-3444 Email: info@myticket.jp

Web: www.myticket.jp

※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にお問合せ・ご確認の上お申し込みください。

旅行企画・実施：エアワールド株式会社

大阪府中央区本町 2-2-14-207 号 観光庁長官登録旅行業第 961 号
日本旅行業協会 (JATA) 会員

呼びかけ団体：特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター (JVC)
東京都台東区上野 5-3-4 クリエイティブ One 秋葉原ビル 6 階

電話：03-3834-2388 Email: arita@ngo-jvc.net Web: www.ngo-jvc.net
(担当：下田)



※スケジュールは一部変更される可能性があります。

9/16(sat)

- 09:00 ウボンラチャター空港到着ロビー集合
 専用車でムクダハン県へ移動
 昼 ×ムクダハン県・カオデー農園到着、昼食
 午後 ①カオデー農園案内
 ×カオデー農園にて夕食

朝食 × | 昼食 ○ | 夕食 ○ | 宿泊: カオデー農園

9/17(sun)

- 08:00 ×カオデー農園にて朝食
 午前 ①カオデー農園で農業体験
 午後 専用車でコンケン県へ移動
 コンケン市・ホテル着
 ×市内レストランにて夕食

朝食 ○ | 昼食 × | 夕食 ○ | 宿泊: ベンガシム、または同等クラスの料

9/18(mon)

- 早朝 専用車でボン市へ移動
 ①コンケン県ボン市の有機農産物直売市場見学
 ×市場にて朝食
 午前 ①市場委員会との交流「市場の成立と今後」
 午後 専用車でバンコクへ移動
 バンコク到着
 ×市内レストランにて夕食

朝食 ○ | 昼食 × | 夕食 ○

宿泊: Nantira Sukhumvit 39, RetrOasis Hotel, または同等クラスの料

9/19(tue)

- 午前 ×ホテルで朝食
 専用車で SAFT 事務所へ移動
 終日 ① NGO・SAFT 訪問「SAFT の取組み」
 ① SAFT 活動地見学
 ×市内レストランにて夕食

朝食 ○ | 昼食 × | 夕食 ○

宿泊: Nantira Sukhumvit 39, RetrOasis Hotel, または同等クラスの料

9/20(wed)

- 午前 ×ホテルで朝食
 専用車でスパンブリー県へ移動
 ① NGO・KKF 訪問「KKF の取組み」
 午後 ツアーまとめの会議
 18:00 バンコク市内で解散

朝食 ○ | 昼食 × | 夕食 ×

○旅行代金に含まれるもの

旅行期間中の陸路交通費、宿泊費
 (2名1部屋)、朝食(4食分)、昼食
 (1食分)、夕食(4食分)、視察先で
 のタイ語-日本語通訳代、資料代

○旅行代金に含まれないもの

ご自宅から集合場所までの交通費、解散場
 所からご自宅までの交通費、海外旅行保険
 加入料金、昼食(4食分)、1人部屋にしたい
 場合の追加費用(プラス8,000円)、食
 事における飲料代、個人的な費用(電話代、
 お土産等)、パスポート取得代

カオデー農園

かつて JVC がバンコク郊外で行なっていた自然農園プロジェクトによる研修制度の修了生が、東北タイ・ムクダハン県で2006年にスタート。米、野菜、家畜など農園内の循環を取り入れた有機農業を実践する。JVC の他、大学等のスタディツアーや各種研修の受入れも行なっている。農園開設から現在に至るまで、理想と現実—実際に有機農業で生計を立てることの難しさ—の狭間で続けてきた試行錯誤の軌跡を辿る。

ボン市有機農産物直売市場

コンケン県ボン郡に2002年にオープン。JVC のプロジェクト(目的: 自然・持続的農業の普及と農家の生活の安定と向上)として、有機農産物とそれを使った加工品(惣菜)を販売する朝市を農民グループと共につくった。現在は、生産者を中心に構成される市場委員会によって自主的に運営されている。朝市ができたことでの変化、NGO の支援の良し悪し、オープンから15年を迎えた現在の課題を聞く。

SAFT (持続的農業財団)

人間と自然環境とのバランスを重視した農業システム(持続的な農業)の普及を目指し1998年に設立された NGO。持続的な農業に関する調査、開発、普及のための団体の強化、生産者と消費者を繋げる活動を行なうことを目的としている。農民、政府、NGO、学識者など様々なセクターを繋げるコーディネータ的役割も担う。近年、バンコクを中心に都市生活者の農業への参加促進として City Farm プロジェクトを展開中。タイにおけるフード・セキュリティの現状と、農業・農村開発 NGO が次に目指すビジョンを示す。

KKF (カオクワン財団)

持続的な農業の普及と米や作物の交配や品種改良を専門とする NGO。代表であるデーチャー・シリパット氏による複合農業普及の活動は1984年に東北タイで始まり、1989年にはスパンブリー県を拠点とし TREE (Technology Center for Society) を設立。カオクワン財団としては1998年に登録され、農民が本来持つ知識や経験を最大限に活用し、自然資源保全と環境に配慮した農業の実現と彼らの自立を目指す。農民のための各種トレーニングも定期的に開催。作物の交配・品種改良、化学物質による農業分野への影響、持続可能農業実践によって得られる効果などを聞く。



1980年にインドシナ難民の救援を機に発足し、現在世界10カ国・地域と東北の震災被災地2ヶ所で活動している国際協力 NGO。JVC は、武力に拠らない紛争解決・平和構築を目指すと共に、自然環境に配慮した地域循環のある暮らしや生き方をつくりだすことを目指している。さらに、それぞれの地域で社会を変えていこうとする人々同士が学びあう場をつくり、新たな実践が生まれるよう支え、活動が持つ社会変革のメッセージを発信することに注力している。